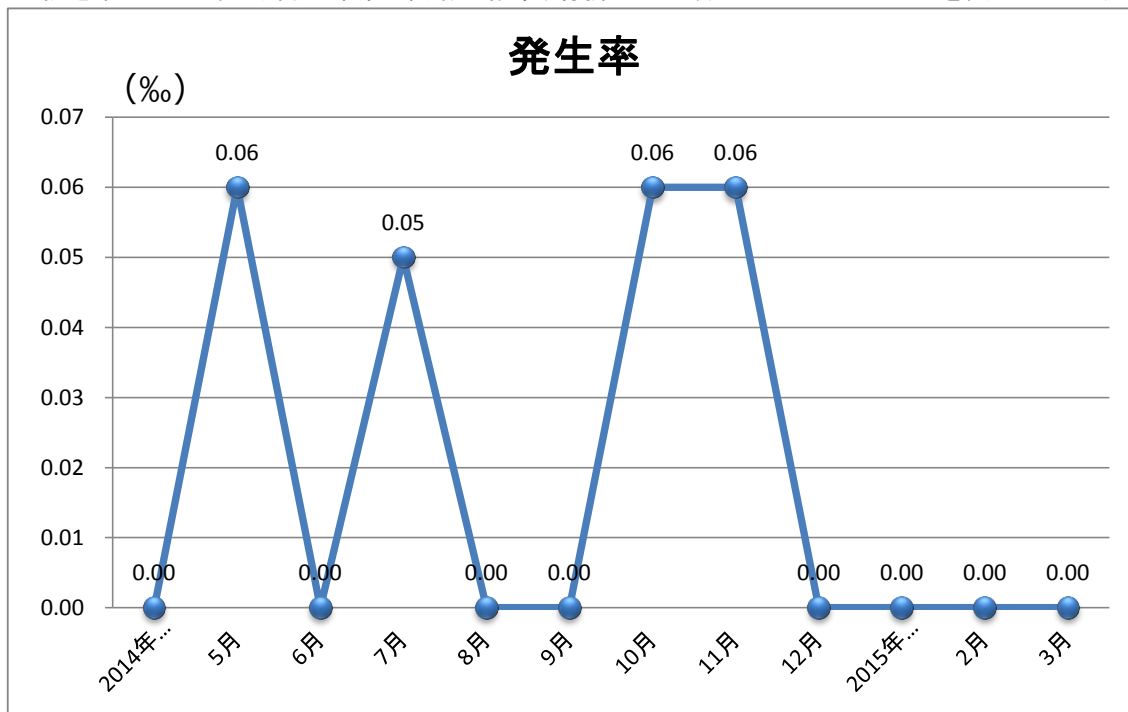


分子 発生件数

分母 計測期間における、延入院患者数

年月	2014年4月	2014年5月	2014年6月	2014年7月	2014年8月	2014年9月	2014年10月	2014年11月	2014年12月	2015年1月	2015年2月	2015年3月	年間
分子	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	4
分母	17,314	17,983	18,032	18,245	17,592	17,351	18,087	17,702	18,166	17,172	16,954	19,316	213,914
発生率(%)	0.00	0.06	0.00	0.05	0.00	0.00	0.06	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02
転倒転落報告件数	36	24	49	44	34	29	27	32	46	36	27	35	419

・計算式 パーミル(‰)

・入院患者1000人あたり何人 転倒・転落の結果、骨折または頭蓋内出血しているかを表している $\frac{\text{分子}}{\text{分母}} \times 1000$ **<解説>**

転倒・転落により、骨折等の外傷が発生した場合、患者さんの生活の質(QOL)の低下や回復の遅延を招き、また入院期間の延長により医療費も増大させる等、様々な弊害をもたらします。しかし、予防に全力を尽くしても予防が困難な場合もあります。

このため、予防対策に加え、転倒・転落が発生しても大きな障害をもたらすことがない対策を講じていくことも重要となります。